

# 千葉独自

## 県都への アクセス改善

### ⑫ 県都1時間構想達成率/H19 目標：67%

H17 実績

65  
(%)

H18 実績

65  
(%)  
(H18目標: 65%)

H19 目標 (全て年度末)

67  
(%)

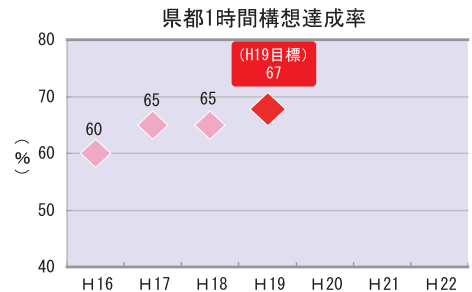
館山自動車道供用による効果

#### 達成度 報告

○平成18年度は、圏央道の木更津東IC～木更津JCT間が供用されましたが、新たに千葉市まで1時間で到達可能となった市町村がなかったため、県都1時間構想達成率は65%のままでした。

#### 業績 計画

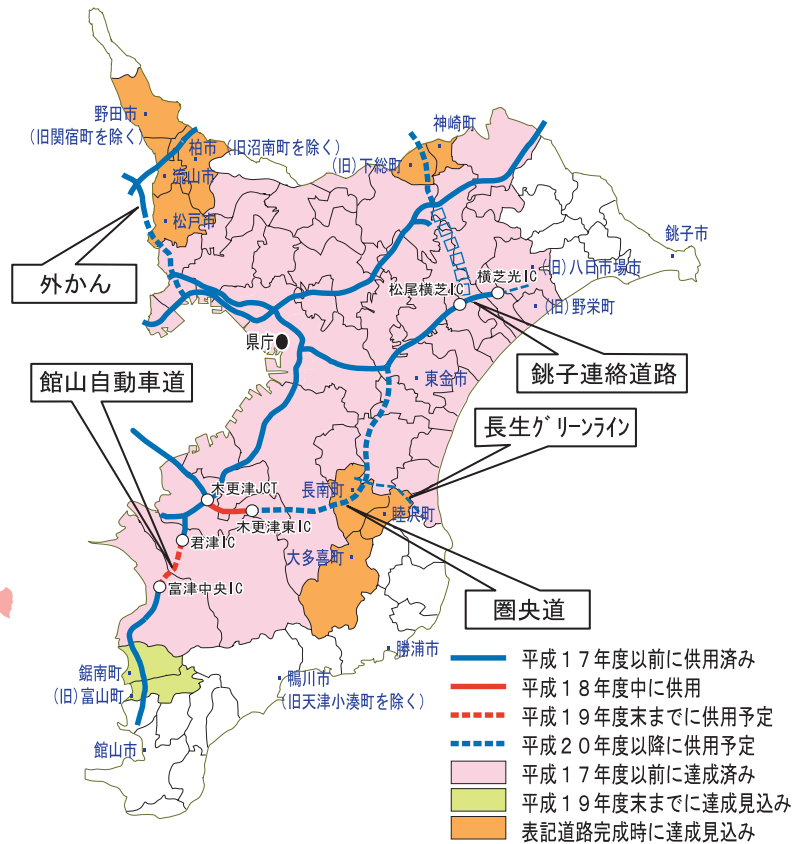
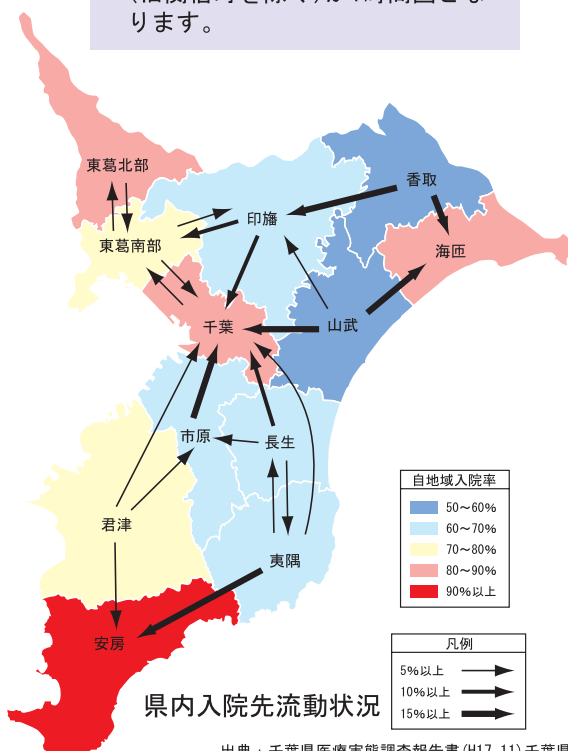
○館山自動車道の全線開通により、鋸南町、(旧)富山町の2町が1時間圏に入ることが見込まれます。  
○平成19年度は、鋸南町、(旧)富山町への圏域拡大を見込み目標値を67%に設定します。



#### 現状と 課題

○千葉県では「県都1時間構想(\*巻末用語解説)」により、県内の主要都市から、県都千葉市まで所要時間を1時間に近づけることを目指しています。  
○しかし現在、南房総地域、東総地域など、県全体の約35%(旧市町村単位・面積ベース)が未達成となっています。  
○県都千葉は、行政、経済、文化、教育のみならず医療の中心でもあり、千葉市内の病院に東葛南部、印旛、山武、長生、市原等の地域から入院患者が集中しています。

- 「館山自動車道」の全線開通により、鋸南町、(旧)富山町が千葉市から1時間圏となります。
- 「圏央道」の木更津東IC～茂原長南IC(仮)、および「長生グリーンライン」により、長南町、大多喜町、睦沢町が1時間圏内となります。
- 「外かん」により、松戸市、流山市、柏市(旧沼南町を除く)、野田市(旧関宿町を除く)が1時間圏となります。



出典：千葉県医療実態調査報告書(H17.11)千葉県

平成18年度の  
評価

県都1時間構想の達成率向上を目指し、事業を推進

- 「圏央道」の木更津東IC～茂原長南IC(仮)、および「長生グリーンライン」等の整備を推進しました。
- 「東京外かん道」の整備を推進しました。これにより、松戸市、流山市、柏市(旧沼南町を除く)、野田市(旧関宿町を除く)が1時間圏となります。

平成19年度の  
計画

平成19年度末の67%の達成を目指す

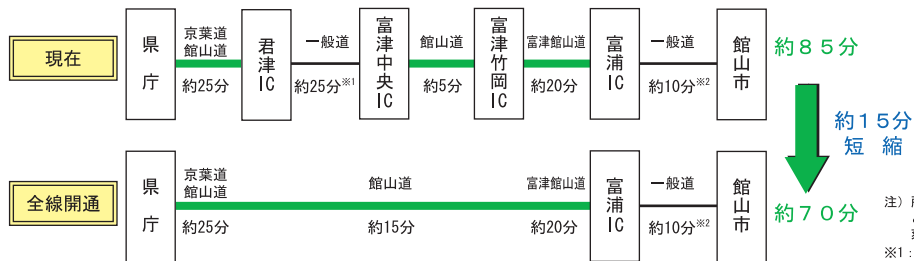
- 館山自動車道の全線開通により、鋸南町、(旧)富山町が千葉市から1時間圏となり、目標達成が見込まれます。

代表的な事業 南房総地域を高速道路ネットワークに結ぶ  
館山道(君津IC～富津中央IC)

H19.7.4  
開通

- 「館山自動車道」は「富津館山道路」に接続し、南房総地域を高速道路ネットワークに連携させる路線です。
- 「君津ICから富津中央IC間」が平成19年7月に開通しました。
- 全線開通により、首都圏から南房総地域への所要時間がさらに短縮され、周辺地域の交通混雑及び渋滞の緩和により、地域の利便性の向上や活性化が期待されます。

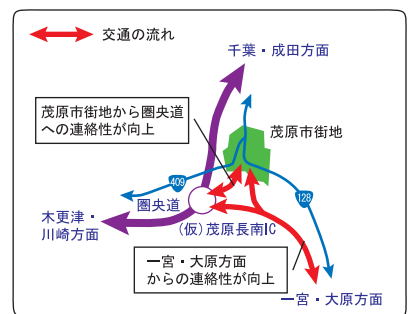
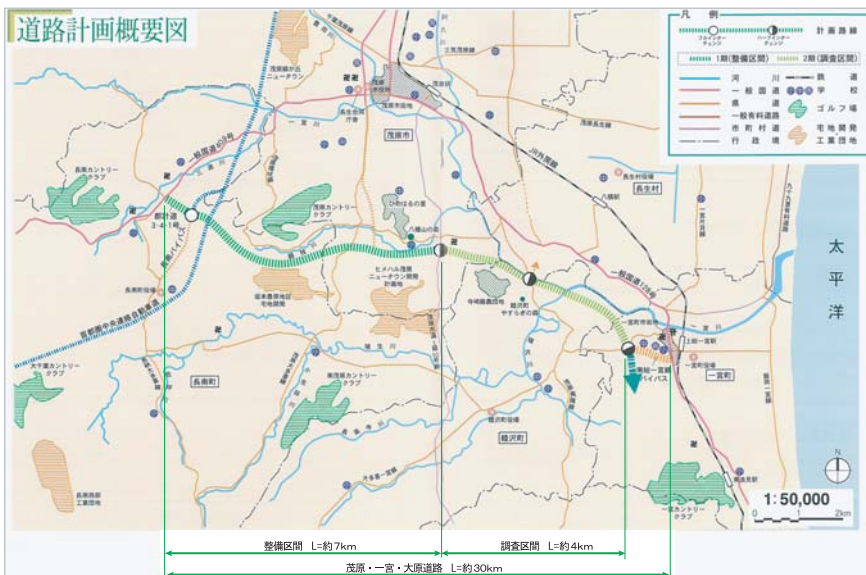
県庁から館山市への所要時間



注) 所要時間の算出条件は、新設する高速道路の走行速度を70km/hと仮定し、既設の高速道路は規制速度、その他の道路は道路時刻表、道路交通センサス値を用いて試算した既算値  
※1: 道路交通センサス旅行速度により算出  
※2: 道路時刻表により算出

代表的な事業 外房地域を高速道路ネットワークに結ぶ  
長生グリーンライン

- 「長生グリーンライン」は、外房地域の中心都市である茂原市及び以南の地域を連絡する地域高規格道路です。圏央道の開通に合わせ、平成21年度の開通を目指して整備を進めています。
- 圏央道にアクセスし、首都圏への広域的な交通ネットワークを形成し、「長生山武地方拠点都市」構想等を支援する重要な道路です。
- 長生グリーンラインにより、睦沢町、長南町、大多喜町が千葉市から1時間圏となります。



長生グリーンラインによる交通の流れ  
出典:パンフレット「茂原一宮道路」

# 千葉独自の 半島地域の 産業振興

## 13 観光・漁業拠点への所要時間/H19 目標 : 88分

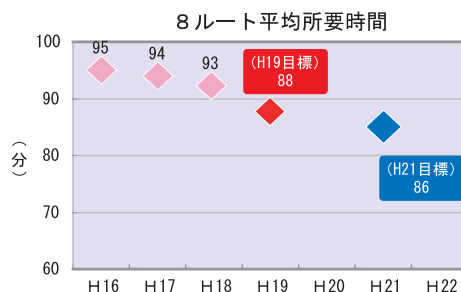


### 達成度報告

○圏央道木更津東IC~木更津JCT間の開通によって、一宮町までの所要時間が短縮され、首都圏との平均所要時間は93分となりました。

### 業績計画

- 平成19年度は館山道(君津IC~富津中央IC)の開通により88分の達成を目指します。
- 平成21年度末までには圏央道(木更津東IC~茂原長南IC(仮))、長生グリーンラインの開通により、86分の達成を目指します。



### 現状と課題

- 観光、漁業は半島部にとって重要な産業です。観光(首都圏中心部⇒半島部)、漁業(半島部⇒首都圏中心部)というように千葉県の道路整備は双方向に効果があります。
- 圏央道、銚子連絡道路、館山自動車道等の整備により、半島地域~京浜地区間の所要時間を大幅に短縮し、半島地域の活性化を支援します。
- 太平洋に面する5地域と君津地域を合わせた地域の入り込み客数は、約4,500万人に達し、この地域の重要な産業の一つになっています。



この8ルートの平均所要時間で評価します。



「観光・漁業拠点への所要時間」短縮に関する事業位置

起点	終点	H17年度末	H18年度末	H19目標	H21目標
東関東自動車道 起点	銚子市	105分	105分	105分	105分
	一宮町	75分	75分	75分	75分
	鴨川市	88分	88分	88分	88分
	館山市	114分	114分	93分	93分
アクアライン 起点	銚子市	130分	130分	130分	130分
	一宮町	84分	77分	77分	67分
	鴨川市	65分	65分	65分	65分
	館山市	91分	91分	69分	69分
平均		94分	93分	88分	86分

8ルートの所要時間(H18年度末)



平成18年度の  
評価

圏央道により、所要時間が短縮

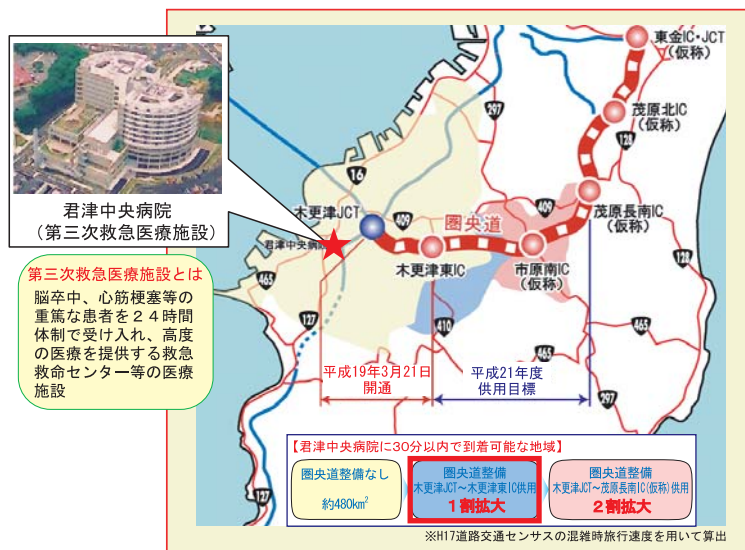
- 圏央道の開通により、救急医療活動が向上します。また、築地市場までの輸送時間が短縮され、鮮度の高い千葉ブランド生鮮水産物の流通が首都圏で拡大されます。
- 圏央道の整備により、羽田空港、成田空港までの所要時間が大幅に短縮し、物流にとって重要な定時性の確保が可能となります。

代表的な事業 首都圏中央連絡自動車道

■ 圏央道に期待される効果

- 1 【産業】外房地域の多種多様な産業への効果  
圏央道の開通により、外房地域が近づきます。
- 2 【生活】救急医療施設のカバー圏拡大  
第三次医療施設への30分で到達する圏域が拡大し、安心な生活に寄与します。
- 3 【生活】高速バスの利便性向上  
所要時間が約30分短縮、定時性確保により、東京通勤圏域が広がります。
- 4 【観光】ゴルフ場へのアクセス向上  
東京湾アクアライン(川崎浮島JCT)から60分で到着できるゴルフ場が、現在の約2倍になります。
- 5 【産業】水産物の輸送時間短縮  
輸送時間が約2割短縮され、鮮度の高い千葉ブランド水産物を出荷できます。
- 6 【産業】工業団地の誘致  
輸送時間短縮と定時性確保がメリット、圏央道をまちづくりの軸にした企業誘致

■ 第三次医療施設への30分到達圏域が拡大し、生活の安心感が向上！



■ 築地市場までの輸送時間が約10分短縮され、鮮度の高いまま水産物を出荷！



■ 圏央道の整備により、茂原市周辺の工業団地から羽田空港、成田空港への所要時間が大幅に短縮！



平成19年度の  
計画

平成19年度、88分の達成を目指す

- 平成19年度は、館山道(君津IC～富津中央IC)の開通により、館山市・南房総地域への所要時間短縮をはかり、88分の達成を目指します。(H19.7.4開通により達成しました。)
- また、平成21年度には、圏央道の木更津東ICから茂原長南IC(仮)間および長生グリーンラインの開通により、86分の達成を目指します。